

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL: <http://www.sairingi.com/>  
携帯URL: <http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter: @sairingi

## 平成30年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会 盛大に開催される

平成30年1月12日(金)[ラフレさいたま 櫨の間]において公益社団法人埼玉臨床検査技師会平成30年賀詞交歓会ならびに各賞受賞記念祝賀会が開催されました。今年は、来賓、会員、賛助会員合わせて221名の方々にご参加頂き盛大に開催することができました。会は、松岡常務理事の開会の挨拶にて始まり、つづいて津田会長から技師法改正に関する事項として私たち検査技師の根幹の部分とも言える法律・省令が動き出していること、検体採取講習会の受講者が伸び悩んでおり、是非とも多くの会員が臨んで欲しいこと、また、今春は6年に一度という診療報酬と介護報酬の同時改定の年であり2025年問題を前にして医療制度が大きく変革をする時期でもあるため、検査技師は注意深く周りの状況・環境の変化を見て聞いて行動して欲しいと言う話がありました。来賓の祝辞を櫻林郁之介学術顧問、埼臨技賛助会員を代表してミズホメディー株式会社前鶴祐輔様よりいただきました。引き続き来賓の方々の紹介が行われ、埼臨技名誉会員の野本幸雄様のご発声で乾杯となり、楽しく、賑やかな歓談のひとつきを過ごしました。祝賀会の中では、昨年10月28、29日に開催された平成29年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第54回)の学会長でありました津田会長より学会盛会の御礼の後、各賞受賞者の方々の紹介が行われました。



ここで改めて受賞者の方々をご紹介します。受賞者の皆様、おめでとうございます。

### ✦公衆衛生事業功労者 厚生労働大臣表彰

神山 清志 氏	浦和医師会メディカルセンター
岡田 茂治 氏	埼玉県立がんセンター
矢作 強志 氏	川口市立医療センター
小山 博史 氏	JCHO埼玉メディカルセンター

### ✦埼玉県公衆衛生事業功労者 埼玉県知事表彰

鈴木 雅之 氏	埼玉医科大学病院
山田 攻 氏	埼玉医科大学病院
庄司 和春 氏	埼玉医科大学総合医療センター
河村 憲一 氏	JCHO埼玉メディカルセンター
小島 徳子 氏	上尾中央医科グループ 蓮田一心会病院
伊藤 恵子 氏	東武医学技術専門学校

✳️緒方富雄賞

中島 あつこ 氏 獨協医科大学埼玉医療センター

✳️埼玉県臨床検査技師会功労者表彰

並木 薫 氏 東京医学技術専門学校

✳️埼玉県臨床検査技師会優秀論文賞

熊谷 佳奈江 氏 越谷市立病院

✳️結核研究奨励賞

福島 浩一 氏 埼玉県衛生研究所

受賞者への花束贈呈があり名誉会員の前原光江様より受賞者への祝辞の後、各受賞者の方々から謝辞をいただきました。今回も多くの方が受賞され、来賓の方々を交えての記念撮影も華やかなものとなりました。楽しく賑やかな会も終焉に近づき、第46回埼玉県医学検査学会の鈴木学会長より開催の案内と協力要請が行われました。最後は祝賀会らしく濱本常務理事の「三本締め」で今年の会もお開きとなりました。ご出席いただきました皆様ありがとうございました。戊年のこの一年が、皆様にとりましてよい年となりますようご祈念申し上げます。

(文責：濱田昇一)



## 第46回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：平成30年12月2日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：『拓く』

サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～

第46回 埼玉県医学検査学会  
実行委員長 長岡 勇吾

平成30年12月2日(日)に開催されます第46回埼玉県医学検査学会にて実行委員長を務めさせていただき、さいたま赤十字病院の長岡勇吾と申します。これまで埼玉学会が会員、賛助会員、他たくさんの方々が協力して素晴らしい学会となっていく様子を埼臨技理事として間近で見してきました。実務を担う立場になり自分たちにもそれができるのだろうか？と考えると甚だ不安ですが、引き受けたからにはとにかく楽しくやろう！やらされるのではなく、自分からやろう！と考えました。臨床検査技師も様々な新たな領域に自ら取り組む今この時、今学会が未来を『拓く』ため、また可能

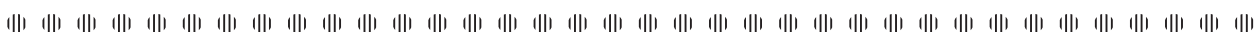
性を『拓く』ためのヒントとなればと思っています。鈴木学会長を先頭に18名の実行委員が力を出し合って頑張りますので、会員、賛助会員のみなさまよろしくお願い申し上げます。



追伸；今学会のロゴマークが決まりました  
シンプル イズ ベスト！  
こちらもよろしくお願ひいたします

## 第46回 埼玉県医学検査学会 副実行委員長 神嶋 敏子

第46回埼玉県医学検査学会にて副実行委員長を務めさせていただき、埼玉県立小児医療センターの神嶋敏子と申します。小児医療センターが新都心に移転して1年が過ぎましたが、想像をはるかに超える変化が波のように押し寄せ、対応に追われる日々でした。そして今我々臨床検査技師も大きな変化の時を迎えていると感じています。今学会に参加された皆様が『拓く』ためのヒントを1つでもお持ち帰りできるよう、18名の実行委員が一丸となって企画を練っておりますので、皆様奮ってご参加ください。12月2日(日)大宮ソニックシティでお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。



## 各研究班の研修会報告を致します。

テーマ **不規則抗体消去法** ～いちから解説～

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成29年12月15日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科ー20点

講師：古杉 光明 (オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社)

参加人数：会員90名 賛助会員2名 学生2名

出席した研究班班員：山田攻 渡邊一儀 神戸考裕 佐藤祥子 長谷川卓也 野呂光恵  
久保居由紀子 小林真弓

研修内容・感想など

今回の研修会は、古杉氏に不規則抗体検査を基本的なことから解説をしていただいた。検査で使用する血球からはじまり、ガイドラインに沿った消去法の行い方や抗体同定結果の解釈の基本事項、抗体同定の手順など分かりやすく説明をしていただいた。その後、症例問題を2問研修会参加者に行ってもらい、普段輸血検査業務を行っていない方にも分かりやすく解説をしていただいた。

私達臨床検査技師は、患者に安全な輸血療法行うために輸血関連検査を行っている。今回の研修会で学んだ内容は普段各施設で行っていることであると思うが、再度知識の確認を行う



ことが出来たと思われる。また、普段輸血検査業務を行っていない方にとっても、検査の意義や考え方を学ぶ良い機会になったと考える。今回の研修会はとても有意義であり、今回のような参加者体験型の研修会を今後も企画していきたいと思う。

(文責：長谷川卓也)

## テーマ **高血圧の基礎 ～レニン・アルドステロンを用いた検査と診断について～**

主催 血清検査研究班

実施日時：平成29年12月21日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：基礎教科－20点

講 師：山中 佐織（和光純薬工業株式会社 臨床検査薬営業本部 営業推進部）

参加人数：会員33名 賛助会員 3名

出席した研究班班員：庄司和春 鈴木淳子 鯨井智子 岩崎篤史

研修内容・感想など

今回は高血圧の基礎的な話とレニン・アルドステロンを用いた検査、診断について、山中氏にご講演いただいた。現在の日本では、高血圧が非感染性疾患による死亡の主要な危険因子となっており、日本人の約3人に1人が高血圧患者とされている。そのため高血圧の早期発見や生活習慣の改善が、循環器疾患による死亡率を低下させ、国民の平均寿命の延長へとつながる。体内における血圧調節には自律神経系や液性調整系など多くの要素が関わっているが、特に体内のナトリウム調節の関係から、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系という調節システムが重要である。このシステムは腎臓の傍糸球体細胞からレニンが分泌され、血液中のアンジオテンシノーゲンからアンジオテンシンⅠを作る。アンジオテンシンⅠはアンジオテンシン変換酵素(ACE)によりアンジオテンシンⅡに変換され、アンジオテンシンⅡは全身の動脈を収縮させるとともに、副腎皮質からアルドステロンを分泌させる。アルドステロンのNa再吸収促進により循環血液量が増加し血圧上昇へと進む。

高血圧症は原因を特定できない本態性高血圧と、他の疾患や薬剤の副作用といったある特定の原因による二次性高血圧に分けられる。二次性高血圧には様々な疾患があるが、最も頻度の高い疾患が原発性アルドステロン症である。原発性アルドステロン症は副腎皮質の自立的なアルドステロン産生により引き起こされる疾患であり、症状として血圧上昇、発作時の筋力低下、および低カリウム症などがあげられる。自立的なアルドステロンの産生過剰とそれに伴う血漿レニンの抑制が特徴とされているため、両者の比率増加がスクリーニングに有用とされている。血漿レニン活性(PRA)の測定は血中に存在するアンジオテンシノーゲンを基質として、単位時間に生成するアンジオテンシンⅠを測定する方法により評価するが、安静時間や体位、日内変動などを考慮する必要があるため、各施設によって採血時の条件が異なる。今回の講演ではレニン活性を評価する上で最適な条件を詳しく説明していただいた。また、活性型レニンを認識するモノクローナル抗体により血漿中の活性型レニン濃度(ARC)を直接定量する方法も開発され臨床応用されており、健常人や高血圧患者といった均一のグループからのサンプルでは、PRAとARCは高い相関を示している。しかし、PRAやARC、アルドステロンといった本態性高血圧と二次性高血圧の鑑別に必要なスクリーニング項目を院内で測定している施設は少なく、外部委託が多くを占めている。

現在では生化学項目と同時間で測定が可能な分析装置も開発されており、院内化のメリットに関しても詳しく教えていただき、非常に有意義な講演となった。

(文責：岩崎篤史)

## テーマ **再確認したい！ 心臓超音波と心電図所見**

主催 生理検査研究班

実施日時：平成30年 1月18日 19時00分～20時20分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：基礎教科－20点

講 師：近藤 昌知（医療法人社団 恵仁会 府中恵仁会病院）

参加人数：会員148名

出席した研究班班員：早川勇樹 瀧沢義教 家城正和 関口知詠子 田名見里恵 丸山陽介  
櫻井友加里 横尾愛

研修内容・感想など

今回は「再確認したい！心臓超音波と心電図所見」というタイトルで近藤氏にご講演いただいた。最初に超音波検査の基本という内容で、左室長軸像の各腔の大きさから疾患を予測する方法や局所壁運動から左室駆出率を予測する方法、弁の動きを評価する方法など正常例の確認方法について解説があり、次いで心電図と心臓超音波の関連として調律やP波、QRS波、ST変化などの心電図異常が超音波所見としてどのように現れるのかを分かりやすくまとめてお話いただいた。

その後、調律の異常としては心房細動、P波の異常としては左房負荷といったように症例ごとに心電図を提示し、超音波所見を正常例と比較しながら説明していただいた。中でも稀な症例として大動脈四尖弁の解説があった。本症例は大動脈弁短軸像で弁尖の数が正常より多い4枚であることを描出しなければならないが、この症例は弁尖の描出が困難であり、診断を確実にするために使用していた超音波装置を検査途中で変更し検査を行ったそうである。診断を確かなものにするために労力を惜しんではいけないと考えさせられた。そして、各症例の最後には血行動態がどのようになり、どの場所に負荷がかかり、そのためどのような変化が起きるのかを分かりやすく説明していただき各病態の理解を深めることができた。

最後に心臓超音波と心電図所見というタイトルであったがそれだけでなく、身体所見や投薬の有無、他臓器の状態を把握するなど患者の状態を多角的に捉えることが医師の依頼に対して正確に答えることの近道になるとまとめていただいた。

今回の講演は今までにない程の多くの方に参加していただき、熱気にあふれた素晴らしい講演会となった。



(文責：早川勇樹)

## 埼玉県臨床検査技師会OB会入会へのお誘い

埼玉県臨床検査技師会OB会は、定年退職された方や長く賛助会員として勤め上げた方で組織し、国内・海外観光旅行、懇親会、娯楽等を開催して親交を深めています。また、埼玉臨技の支援をいただき学会参加や埼玉臨技会報など配布し、これまで同様に技師会との変わらない絆を大切にしています。

OB会の趣旨、活動に賛同し入会を希望する方は、下記記載のメールアドレスまたは電話で問い合わせいただきたくご案内申し上げます。

e-Mail : [sairingi-ob@sairingi.com](mailto:sairingi-ob@sairingi.com)

Tel : 048-824-4077

平成29年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第10回 理事会議事録

日 時：平成30年 1月11日(木) 18時30分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 岡田 矢作 小山  
奈良 猪浦 長岡 松岡 小島  
石井 藤井 神嶋 長澤 伊藤  
武関 鳥山 阿部

(監事)遠藤

欠 席：(理事)島村 濱本 濱田 山口

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

## Ⅰ. 行動報告 (平成29年12月14日～平成30年1月10日)

12月14日(木)平成29年度第9回理事会：

津田、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、山口、鳥山、阿部、遠藤、細谷

12月16日・17日(土・日)日臨技検体採取講習会実務委員：濱本、藤井、長澤、神山、小山、長岡、山口

12月19日(火)第46回埼玉県医学検査学会第2回実行委員会：長岡、神嶋

12月27日(水)平成29年度第1回予算委員会：津田、神山、矢作、小山、奈良、濱本、山口、松岡、小島、石井

12月27日(水)賀詞交歓会事前準備：藤井、長澤、神嶋

12月30日(土)事務所巡回：矢作

1月3日(月)事務所巡回：小山

1月5日(金)事務所巡回：神山

1月5日(金)日本衛生検査所協会関東甲信越支部・平成30年度賀詞交歓会：津田

## Ⅱ. 報告事項

### 1 事務局

1)埼玉県より、伊丹直人氏(埼玉県立がんセ

ンター)の一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰受賞の決定の連絡があった。

日 時：平成30年 2月26日(月)

午後2時～

会 場：大手町サンケイプラザ

2)緒方富雄賞を中島あつこ氏(獨協医科大学埼玉医療センター)が受賞した。

3)1月5日、平成30年日本衛生検査所協会賀詞交歓会へ津田会長が出席した。

4)埼玉県医師会新年会(創立70周年記念)～2018新春の集い～30周年記念式典・祝賀会へ、津田会長、岡田副会長が出席する事とした。

日 時：平成30年 2月3日(土)

午後6時～

会 場：パレスホテル大宮 4階「ローズルーム」

5)埼玉県より、血液・体液曝露事故緊急対応マニュアルの策定についての通知があった。

6)第17回人工呼吸器安全対策セミナーの後援を行った。

## 2 総務部

1)「埼臨技だより」第464号、1月15日発行予定

## 3 事業部

1)特になし。

## 4 学術部

1)特になし。

## 5 精度保証部

1)特になし。

## 6 会計部

1)12月27日、第1回予算委員会を開催した。

2)平成29年度正会員費4名分20,000円、入会金4名分4,000円、合計24,000円の入金があった。

3)生涯教育推進研修会助成金50,000円×3研修会、合計150,000円の入金があった。

4)石井印刷へ埼臨技だより463号印刷代123,541円、埼臨技会誌Vol.64 NO2印刷代468,720円、封筒印刷代91,800円、会誌仕分梱包費20,823円、合計704,884円を支払った。

## 7 精度管理委員会

1)特になし。

## 8 一都八県会長会議

1)特になし。

## 9 日臨技関甲信支部

1)特になし。

## 10 日臨技

1)平成30・31年度会長候補者選挙が予定されている。

## 11 第46回埼玉県医学検査学会

1) 12月19日、第2回実行委員会が開催された。

## Ⅲ. 承認事項

## 1 事務局

1) 会員動向(平成29年度分)

平成30年 1月 1日現在

会員数 2,910名

(新入会員 293名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 86社[平成28年度 82社]

承認された。

## 2 総務部

1) 特になし。

## 3 事業部

1) 特になし。

## 4 学術部

1) 特になし。

## 5 精度保証部

1) 特になし。

## 6 会計部

1) 特になし。

## 7 精度管理委員会

1) 特になし。

## 8 第46回埼玉県医学検査学会

1) SNS使用について

承認された。

2) ホームページ作成用パソコンの技師会からの借用の可否について

承認された。

## Ⅳ. 議題

1) 平成29年度臨時会員総会資料について

矢作事務局長より平成29年度臨時会員総会資料について発言があった。これを受け理事会審議の結果、一部修正を行うことで承認された。

2) 事務所修繕・建替え、新規取得に伴う積立について

松岡会計部長より事務所修繕・建替え、新規取得に伴う積立について発言があった。これを受け理事会審議の結果、再度調査確認を行い、継続審議とすることで承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。



## 平成30年度技師会費納入および 新入会・再入会者の手続きのお願い

平成30年度技師会費納入時期となりました。会費は前納制となっており、平成30年2月27日(火)に登録済み口座より振替となりますので、ご準備をお願いいたします。

尚、本年度で退会を希望される方は、(一社)日本臨床衛生検査技師会HPより手続きをお願いいたします。また、平成30年度の新入会・再入会者の手続きも同様です。

<http://www.jamt.or.jp/information/official/shinsei.html>

また不明な点につきましては、埼臨技事務所までご連絡をお願いいたします。

ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

会費の内訳については下記の通りとなります。

### 会費内訳

一般社団法人	日本臨床衛生検査技師会	会 費	10,000円
		入会金	2,000円
公益社団法人	埼玉県臨床検査技師会	会 費	5,000円
		入会金	1,000円
継 続 会 員 合 計			15,000円
新 入 会 員 合 計			18,000円

## 求人案内

○特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院

採用条件：正職員

連絡先：048-579-2788 事務長 井上

○医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

採用条件：正職員

連絡先：048-665-6166

人事課 採用担当 大山

○医療法人社団 誠弘会 池袋病院

採用条件：正職員

連絡先：049-231-1552 内線887

総務部 石川雅康

○一般社団法人 大宮医師会メディカルセンター

採用条件：非常勤職員

連絡先：048-665-6559 廣田・吉田

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員(パート)

連絡先：048-645-1256 本部長 星野

○医療法人 智健会 イーストメディカルクリニック

採用条件：正職員 臨時職員(パート)

連絡先：048-799-2111 事務長 長谷川英

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

## あ と が き

年があけて、あっという間に2月です。インフルエンザが猛威を振るっていますが、皆様お変わりありませんでしょうか？

今年の冬はさいたま市でも氷点下9.8℃を記録するなど大変寒い日が続きました。気温の変化が大きすぎると体がついていけません。まだまだ、寒い日が続くと思われまますので、体調管理には十分にお気をつけください。

もうすぐ梅の花がちらほら咲き始めるころになります。季節は少しづつ動いているようです。春が待ち通しいですね。

(奈良 記)

